

大雪による建築物の倒壊を防ぐには？

～ 大雪の被害から大切な命・財産を守るために ～
建築物を所有・管理する方は以下のことにご留意ください

●雪下ろしのタイミングは？

一般的な木造の住宅は **70 cm程度**が目安です

- ・70 cmにならなくても、建具の開け閉めがきつくなったら雪下ろししましょう。
- ・アルミ製のカーポートは、メーカーが積雪深さを指定していますので、確認してください。
- ・比較的大きな建物には、「雪下ろし表示板」がある場合があります。建物の設計の際に想定した積雪深さが記入されていますので、その深さを目途に雪下ろししてください。



安全な雪下ろし作業について、山形県HP「こちら防災やまがた！」で紹介しています。作業を行う前に、是非ご確認ください。



<URL>

<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousaijouhou/setsugai/yukioroshi2.html>

●軒先に注意！



- ・軒先から雪がせり出したり、つららが垂れ下がったままにしておくと、非常に危険です。
- ・軒先が雪の重みで折れてしまうこともあります。軒先の雪は早めに落としておきましょう。
- ・軒先が道路に面している場合は、通行人の安全にも十分配慮してください。

●空き家には近づかない！

- ・古くなった空き家に雪が積もると、倒壊する危険があります。むやみに近づかないようにしましょう。
- ・危険だな、と感じた場合は、空き家の所有者、管理者又は市町村に連絡してください。



山形県県土整備部建築住宅課建築行政担当
TEL 023-630-2651・2636